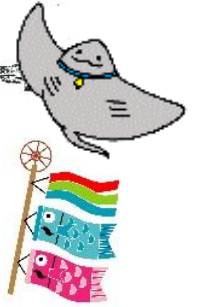




令和8年(2026年)4月24日
 札幌市立共栄小学校 No.734
 URL <https://www.kyoei-e.sapporo-c.ed.jp/>
 e-mail kyoei-e@sapporo-c.ed.jp

共生社会の形成を目指して

インクルーシブ教育実践教諭



今年度から「インクルーシブ教育実践教諭」という役割で赴任いたしました。さくら学級の子ども達だけでなく、全校児童の担任という意識をもって子どもたちと関わっていきたくて考えております。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

【どんなことをするのか？簡単に紹介！主な役割】

○交流及び共同学習の推進

さくら学級の子どもたちが通常の学級で学ぶ際に、TTとして支えます。もちろんその教室にいる全ての子どもたちに関わり、寄り添い、学習を支援します。

○全ての子どもたちの担任

共栄小の全ての子どもたちに特別支援教育の理念を生かして「共感・肯定・承認」していきます。本来の担任の先生がお休みの時は代わりに入りますので、よろしくお願いいたします。

○特別支援教育の専門性の

向上研修の開催

発達障がいに関することを中心に、インクルーシブ教育推進に不可欠な特別支援教育の知識・技能を教職員及び保護者に提供します。

○共栄小におけるインクルーシブ教育の推進

教職員・保護者・子ども・地域、共栄小に携わる全ての人々に向けて、インクルーシブ教育及び特別支援教育に対する理解を深めてもらいます。

○発達障がい児に対する合理的配慮の提供

「TT指導」や「校内通級指導」子どもに適した環境の整備など、可能な限りの配慮を担任と保護者とともに検討し、実施します。

○特別支援教育に関する最も身近な専門家

特別支援教育の専門性を発揮し、教職員及び保護者の教育相談を承ります。障がいの有無に関わらず全ての子の様々な困り感に対して相談に乗りますので、お気軽に御連絡ください。



【インクルーシブ教育とは？】

簡単にいうと障がいのある子どもと障がいのない子どもが分け隔てなく共に学ぶことができる仕組みのことです。共に学ぶといっても、「みんなで同じ」ようにするわけではありません。障がいのある子どもにとっては、みんなで活動を共にしつつ、やり方や到達目標はその子に合ったものが設定されます。そして、そういった多様な学びの姿を皆で認め合うことがねらいです。インクルーシブ教育が学校現場で適切に行われることにより、将来的に多様性を認め合う共生社会が形成されるといわれています。

現代において、特別支援学級に限らずどの教室も発達障がいなどの困りをもつ子どもがいます。また、障がいに限らず様々な要因による心や身体の困り・悩みがあることが世間一般に認知されてきており、学校現場においても特別な教育的ニーズが幅広く混在しています。

だからこそ我々は、あらゆる人々にとって良い学習環境を提供しなければいけないですし、それがインクルーシブ教育の意義であると確信しています。

今回の巻頭言を通じて「話をしてみたい。」「聞いてほしい。」「もっと具体的な話をしてみたい。」など気になったことがあれば是非お気軽に学校まで御連絡ください。一年間で共栄小学校に携わるたくさんの方々と繋がりをもつことを楽しみにしています。



5月 行事予定



日	行 事
1日 (金)	スポーツ振興センター加入同意書配付
7日 (木)	図書貸出開始 児童委員会2 スポーツ振興センター加入同意書回収
8日 (金)	遠足
11日 (月)	体育発表会特別練習期間開始 SC (PM) 厚別南中学校区合同春のあいさつ週間 (~15日) P 登下校見守り週間 11日~15日
12日 (火)	よみっこタイム低 P 役員会①
13日 (水)	歯科健診(1,3,5年さくら) バリアフリー教室 (4年 3・4校時)
14日 (木)	租税教室 (6年 5校時) 全校5時間授業 よみっこタイム高
15日 (金)	遠足予備日
18日 (月)	ごみの分別出前授業 (4年 3,4校時:視) SC (AM)
19日 (火)	尿検査一次
20日 (水)	歯科健診(2,4,6年)
21日 (木)	児童委員会3 P 資源回収
23日 (土)	P 花壇苗植え
24日 (日)	P 花壇苗植え予備日
25日 (月)	SC (PM)
27日 (水)	学校諸費引落日 体育発表会全体練習
28日 (木)	(体育発表会全体練習予備日) 全校5時間授業 SC (1日)
29日 (金)	体育発表会前日準備
30日 (土)	体育発表会

~ 4・5月の生活目標 ~
目を合わせてあいさつしよう!

遠足について

- ・5月8日(金) 予備日:5月15日(金)
- ・1,2年…虹ヶ丘公園、3,4年…平岡公園・広場、5,6年…平岡公園・梅林
- ・持ち物などの詳細については、各学年の時間割を御確認ください。

厚別南中学校区合同春のあいさつ週間

小中一貫した教育の一環として厚別南中学校区4校(厚別南中、共栄小、大谷地東小、ひばりが丘小)で日程を合わせて挨拶運動を行います。子どもたちや地域に挨拶の輪が広がる取組を行います。

あいさつ週間:5月11日(月)~15日(金)

5月27日(水)は、学校諸費の引落日

昨年度から年2回の分割引き落としとなっています。

- ・5/27(水)と10/27(火)に引き落としになります。
- ・校外学習でバスを使用したときなど臨時で引き落としをする場合があります。
- ・徴収金額をお知らせする「学校徴収金学年別一覧」は、後日配付します。

※このほかに引落手数料が110円かかります。

体育発表会について

5月30日(土)開催を予定しています。
近くなりましたら、詳しい時程などをお知らせします。

参観・PTA総会・教育相談 ありがとうございました

先日の参観懇談への御参加およびPTA総会議決権行使書のすぐ一による御回答などに感謝します。また、教育相談にも御協力いただきありがとうございます。

PTA活動については、今年度から1家庭1ボランティアの活動となります。それぞれ無理のない範囲で、子どもたちのための活動に御参加いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

お願い

学校を休む場合

欠席や遅刻の際は、必ず学校に連絡をしてください。朝の8時30分までにすぐ一着での連絡をお願いします。

学校で具合が悪くなった時

保健室で手当てをしますが、早退しなければならない場合は、保護者の方に連絡いたします。必ず迎えに来ていただきますよう御協力をお願いいたします。

不審者に出会った場合

すぐに警察に通報してください。その後学校にも御連絡ください。不審者情報があつた場合も同様をお願いいたします。

共栄小学校の子どもたちの約束 「よいこのくらし」 から安全にかかわることを御紹介します

- ・忘れ物をして、家に取りにもどらないようにしましょう。
- ・寄り道をしないで、通学路を歩いて帰らしましょう。
- ・外出する時は、家の人に行き先や帰りの時刻、一緒に行く人を伝えてから出かけましょう。
- ・帰宅時刻は17時です。(4月～9月)
- ・お店などへの出入りは、用事のないときはしないようにしましょう。

【防災防犯マニュアルについて】

本校では災害などが発生した場合、その内容とレベルに合わせて3つの下校方法を設定しています。

レベル1：悪天候・近隣地域に不審者

- ・下校時刻を揃えて一斉下校。(教師は玄関まで子どもを送り出す)
- ・教室にて注意喚起の学級指導。 ・すぐ一着、学校HPで知らせる。

レベル2：悪天候(吹雪・強風・豪雨)・校区内に不審者

- ・下校時刻を揃えて一斉下校。(兄弟は一緒に帰る・教師も方面別に分かれて下校を見守る)
- ・すぐ一着、学校HPで知らせる。
- ・各家庭、児童会館などでは、可能な範囲内で外に出て見守っていただく。

レベル3：台風・猛吹雪・特別警報発令・大地震・学校火災・校区内に不審者(刃物所持・熊出没など)

- ・学校HP、すぐ一着で知らせる。・保護者へ引き渡し。
- (基本は教室にて～状況によっては、体育館・グラウンド・地域の公園・他の小中学校なども考えられる)

安全への取組として～避難訓練～

年に数回、避難訓練を行います。火災、地震、不審者侵入など、想定を変えたり、学習時間や休み時間など時間を変えたりしながら、年間を通して、子どもたちが安全に避難することができるように、訓練を行っています。今年度の1回目は、「近隣で火災が起きた場合」の設定で避難経路の確認をしました。

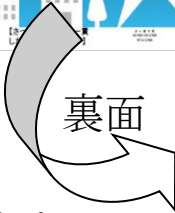
学校ホームページのご案内

共栄小学校ホームページでは、子どもたちの普段の学習の様子や学校の教育活動などについてお知らせしております。内容は随時更新しておりますので、是非ご覧ください。

URL <https://www16.sapporo-c.ed.jp/kyoei-e/>



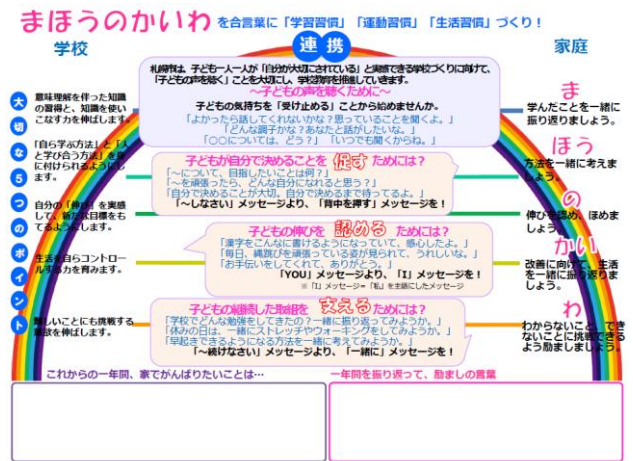
さっぽろっ子「学び」のススメについて



裏面には、具体的な言葉掛けが記されています。

- ・子どもが自分で決めることを促すためには？
 - ・子どもの伸びを認めるためには？
 - ・子どもの継続した取組を支えるためには？
- 伝え方を変えるだけで、子どもの意欲が高まっています。ぜひ、参考にしてみてください。

学校と家庭が手を取り合って、お子さんのよさや可能性を伸ばしていくために札幌市教育委員会から「まほうのかわ」で習慣づくりという手引きが配付されました。家庭での「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」をどのように子どもに身に付けさせたらよいか、家庭でどんなことができるのかというヒントが分かりやすく記されています。



共栄小学校での家庭学習のすすめ

本校では学年に合わせて家庭学習へ取り組み方を設定しています。学校でも自分から取り組めるようアドバイスをしていきます。丸付けや声掛けなどして、お子さんを支えていきたいです。

本校では、主体的・意欲的に自立して学ぶ子どもを育てることを目標としています。そのためには、基礎基本の定着に加え、思考力・判断力・表現力・活用力・問題発見力など点数では表しきれない力も必要です。宿題は主として基礎基本の力をつけるために出しています。一方、家庭学習は、「思考力・判断力・表現力・活用力・問題発見力」の育成につながると考えています。

低学年は、宿題として、現在プリントが1～2枚出しています。これは、基礎学習の定着（宿題）と、家庭学習の習慣付けをめざします。中学年からは基礎基本とともに思考力・判断力・表現力・活用力・問題発見力などの力も付けるため、少しずつ家庭学習に移行していきます。学校では、自ら「やってみよう」「調べてみたい」と、興味関心が広がる授業を目指しています。そのような思いを家庭学習につなげ、そして家庭学習が学校の授業に生きるようにすることで学びの連続性が生まれます。学ぶ楽しさを味わうことが、自立した学びへ繋がると考えています。ただし、中学年・高学年でも、個に応じて補充問題を出したり、宿題プリントのようなものを持って帰らせたりすることもあります。家庭学習の課題を与えたり、学校でやり残したものの、教師が学習上必要と感じた学習問題を出したりすることもあります。家庭学習は自分に合った課題を自分で見付け、家庭で自由にできる学習と考えます。学校では家庭学習のヒントを与えますが、内容などを強制しているものではありません。御家庭では、『まほうのかわ』を参考に、お子さんと学習時間や内容などをよく話し合い、生活のルールを決めていくことも必要かと思ひます。時には、見守り、一緒にやってみることもいいでしょう。発達段階やその子に合わせた声掛けをするようにお願いします。